

- ・自分が何をやりたいのか少しはっきりした気がした。
- ・休農地活用団体のようなものが可能かと思えた。
- ・課題が多く現状が厳しいと思った。反面、伸びしろがあることに気づけた。それだけでも意義があると思った。
- ・意見を記載するのに手間がかかる、、、議論の時間がなくなる。
- ・時間管理のためにストップウォッチを席に置いてもらいたかった。
- ・子育て支援は、まちの活性化の重要なポイント！
- ・実際に上野原に住んでいる人に話が聞けたので、その人ならではの困っていることがしれた。(子どもを産める場がない、昔はあったなど)
- ・自分の興味があった分野でも視点が違うと、気づかなかったことが多かったりしました。
- ・大枠の課題・テーマは一緒でもそれぞれの視点で話していくと、真に困っていることが違ったりして話してみるものだなと感じた。

- ・自分と同じ考えを持っている人がいると知ることができた。
- ・時間が短すぎる。
- ・様々な意見交換、交流ができた。自分自身も色々学べた。
- ・人と話すことに少し慣れてきた気がします。前向きな人が集まる場に参加することで、自分も前向きになれて居やすい。みんなからエネルギーをもらえる。
- ・様々な年代、職種の方々とお話ができ、とても有意義な時間でした！
- ・今後の上野原市に向けてテーマごとに分かれて話をしたが、まだまだ知らないことも多く、新しい気づきもあったので参加してよかったと思う。今後もしっかり考えていきたい。
- ・進行が早いのでもう少しスローダウンしてくださると嬉しいです。
- ・観光、子育て、交通どこにも課題があると改めて感じた。
- ・同じ、近いテーマを持った方とお話できて自分自身に新しい気づきもあり、思いがけずとても楽しい時間でした。
- ・興味のあることを話したが、自然と会話が aumentari、議論が進んで楽しくできました！
- ・各々の経験や知識をあわせてみると違う発想につながったりして面白かった。

第4回うえのはら未来会議

日時 | 2024年8月10日(土) 9:00~12:00 会場 | もみじホール・市役所会議室

テーマ | 分科会②～事業計画を考えよう！

各プロジェクトを実現していくために必要な「ひと」、「もの」、「お金」などをどのように集め具現化していくか、事業計画について考えていきます。

第4回からの
参加者歓迎！

UENOHARA MIRAI PRESS

NEWS LETTER vol.2 わたしの未来とまちの未来を想像しよう



Topics

全員がまちづくりの主役！

1人ひとりの“やりたい”をまちのアクションへ

うえのはら
未来会議
2024

上野原市では、進む人口減少とまちの衰退を食い止めるため(地方創生を推進するため)、令和7年度(2025)から令和12年度(2030)までの5年間を計画期間とした新しい総合戦略の策定に取り組んでいます。

6月8日に開催した第2回うえのはら未来会議では、市民32名が参加しました。

第2回は「わたしの未来とまちの未来を想像しよう」をテーマとして、第1回開催時にそれぞれが考えた「10年後に期待する上野原の理想の姿(地域ビジョン)」に投票を行い、その後、1人ひとりが上野原を盛り上げていくための具体的な取り組み(アクション)について考えました。

10月頃まで開催するうえのはら未来会議では、移住・定住だけではなく、創業や雇用創出、結婚、子育て、福祉、教育、市民協働などについて、まちをちょっと豊かにする取り組みについて検討していきます。

＝第2回開催概要＝

日時：2024年6月8日(土) 9:00~12:00

会場：もみじホール

参加者：32名

プログラム：

1. はじめに
2. 趣旨説明
3. 情報提供
 - ・上野原の6つの論点と地域ビジョンの考え方
4. グループワーク
 - ・みんなで大切にしたい上野原のビジョン
 - ・私のアクションからまちのアクションへ
5. おわりに

プログラム紹介

第2回うえのはら未来会議の流れについてご紹介します！



9:00-

はじめに / あいさつ・趣旨説明

上野原市の政策秘書課より開会の挨拶として、ワークショップ開催の目的や総合戦略について説明しました。



9:10-

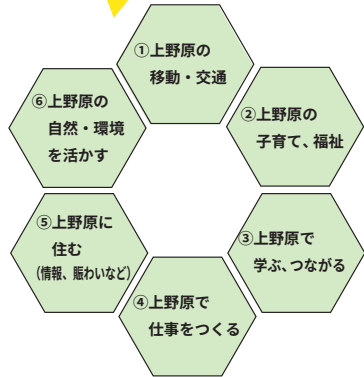
アイスブレイク / チェックイン

参加者の緊張をほぐし、話しやすい雰囲気づくりのため、「7・11（セブンイレブン）じゃんけん」や「チェックイン（自己紹介）」を行いました。

9:30-

情報提供「上野原の6つの論点と地域ビジョンの考え方」

第1回の振り返りとアンケート、各種調査から設定した上野原の6つの論点について説明を行いました。移動・交通、子育て・福祉、教育、産業、移住・定住、自然・環境など、各論点についてどのようなことが課題になっているのか説明がありました。また、その課題を解決していくためには、地域の魅力を自分たちが把握し、暮らしの幸せを自分たちで守る「地域総合力」が求められています。



10:00-

グループワーク

グループワークでは、まずみんなが大切にしたい地域ビジョン（将来像）に投票するところからスタート！「（都会の人が次に住みたい）住みやすい、ちょうど良い田舎のまち」や「山林が80%以上という特徴を生かしたまちづくり、都市部に近い強みを生かしたまち」が人気でした。

その後、まちを豊かにするために1人ひとりが「やってみたい」こと、「必要だと思う」ことなどを考え、同じようなテーマの仲間ごとにチームをつくり、今後の上野原に必要なアクションについて考えました。「自然を感じる聖地巡礼」や「山林の職場体験」、「ランニングイベントを通した情報発信」など様々なプロジェクトの種が生まれました。（詳細は次のページ）最後は各グループで話したことを全体で共有しました。

-12:00

おわりに / 感想記入 / 次回の予告

グループワークまとめ

グループワークで話し合った内容について、一部ご紹介します！

地域ビジョン（将来像）の投票結果

NO	上野原の10年後の姿	投票結果	NO	上野原の10年後の姿	投票結果
1	（都会の人が次に住みたい）住みやすい、ちょうど良い田舎のまち	14	15	日本一の人口増加率を誇る街の中でWAKU WAKUの毎日をごせる人達であふれるまち	2
2	山林が80%以上という特徴を生かしたまちづくり、都市部に近い強みを生かしたまち	13	16	楽しくて健康的なまち、魅力的で住みたいまち	2
3	さらに住みやすいスマートなまち	7	17	農業で食べていけるまち	2
4	子ども達が楽しく、わいわいと遊べる場所をつくって、上野原の方々が楽しく暮らせるまち	5	18	自然と共存するまち	2
5	豊かな自然とふれあい、自由に子どもたちが遊べるまち	5	19	市民が上野原にプライドを保てるまち	2
6	若者が住みたいまち→活気あるまちへ	5	20	県内で一番子どもにやさしいまち	2
7	地域で衣・食・住に必要なものがつくり・使われて循環していくまち	4	21	満足して暮らせる、あたたかいまち	2
8	心おだやかに、みんなのつながりがあるまち	4	22	おもしろ、たのしいシティにしたい	2
9	人に勤められるようなまち	4	23	食物自給率UPなまち	2
10	自然をそのままに子ども達の活気あふれるまち	3	24	自然の中で地域の人々が笑顔で協力しあえるまち	2
11	自信を持って紹介できるまち（魅力を3つ以上言える）	3	25	若者の起業が盛んなまち	2
12	日本全国の人が名前を知っているまち	3	26	様々な体験ができるまち	2
13	遠くからでも足を運びたい魅力あるまち	3	27	グローバルな上野原	2
14	子ども達のにぎやかな声と高齢者の明るい話し声が上手くマッチングした子育て環境の充実したまち そこに適度に観光客がくるまち	3	28	山や森林の環境が良くなる動きをつくれるまち	1
			29	ここが私の居場所と確信できるようなまち	1
			30	楽しいこといっぱい全国の人に注目されるまち	1
			31	各々の人が意識・自覚を持てるまち	1
			32	社会教育とモノづくりの盛んな若者が挑戦できるまち	1
				地域で支え合えるまち	1
				現在ある施設、人材、制度を活かし、活気あるまち	1

アイデアスケッチ（一部抜粋）

未来に向けて人を育む

- ・福祉に特化したまち
- ・好きなことをやれる環境

上野原の自然・環境を活かす

- ・施設を利用して、宿泊施設等で活用
- ・林道等の整備、自然を活かす

山林の活用

- ・小規模な林業家又は会社を増やす
- ・自罰型林業協会との連携
- ・山林の環境を改善、災害を減らす

自然を感じる聖地巡礼

- ・上野原の撮影スポットをツアーで巡る
- ・ツアーの中で、神社や公園などを巡り、自然体験をしてもらう

上野原市周遊

- ・市内を巡るルート（季節に応じて）
- ・スタンプラリー

自然を活用した観光と教育

- ・山、川、空、星、鳥、全ての自然を観光対象にすべく最小限の観光地化
- ・上記を対象とした教育
- ・農業体験を含む農業の新規参入や特性を活かした新たな農業の開発。

〇〇フォトグランプリ（自然風景・天然記念物）

- ・利用者の多いインスタグラムを活用
- ・イベント化することで、市内における経済効果増が期待できる
- ・フォローしていない人にも写真が流れ、上野原を知らない人にも認知される機会となる

人が集まるイベント、情報発信

- ・地域の飲食店とイベントをからめるはしご酒、Run、トレランなど
- ・山登り、スタンプラリー、オリエンテーリングイベント
- ・上野原WEB的な情報を一元化して発信するサイト
- ・焚き火とかアウトドアイベント

上野原の魅力探し

- ・上野原に住む人を対象に「市のここがよい」と思うことを上げてもらうワークショップ
- ・元々住んでいた人、移住者の意見に分けて公開
- ・交流の場になる？

ほろよいの町

- ・時代はひる飲み
- ・夜飲み時代は終わった。これからは昼飲みだ！地産地消にも貢献。
- ・交流の場になる。その後も発信場所になる

地域参加型 保育・子育て

- ・こども園や小学校、地域コミュニティに出張（酒まん作り・玩具づくり、地域の方の発表の話など）
- ・子育てママ保育

子育てネットワークを作る！

- ・子育て関係の情報が共有できる場の設置
- ・市をはじめとする様々な事業者などが情報を共有できる（個人もOK）
- ・掲示板のような（ネットで閲覧？）

つながりから生まれたものを発信して、新たなつながりを生む

- ・キャンプで婚活
- ・人の想いを広める（技術者とか）
- ・上野原の資源をPR

自然環境を活かす

- ・既存施設の活用ーゲストハウス、室内栽培
- ・上野原にしかない観光資源を活かすー田んぼ
- ・環境整備ー対象地域に合わせたまちづくり、森の整備

子育て世代を応援します！

- ・住む場所を確保します！家を建てる支援、子育て世代向けアパート
- ・夜遅くまで子どもをみます！親が遅くまで仕事できる、土日も見てもらえる
- ・安心して遊べる場所をつくります！大きな公園、水遊びできる！